

美里GBは、レタスを作りながら「地球を冷やす」工場です。

＜電気・熱＞

- ・ソーラー電力活用を加速
- ・温湯ボイラーのCO2も活用
- ・他産業のCO2も利活用

＜培地＞

- ・ソイルブロックを使用、
プラを使わない仕組み
- ・培地再利用で資源保護



＜水・肥料＞

- ・循環式。水資源を最大活用
- ・肥料が外に出ず、地下水、
海川を汚染しない仕組み

＜カーボンニュートラル＞

- ・籾殻ボイラーを活用
- ・農地への炭素固定に活用
- ・土壌改良剤としても可



舞台ハイブリッド 土耕栽培とは？



「舞台ハイブリッド土耕栽培」とは、従来の土耕栽培と水耕栽培を掛け合わせた生産方法。

舞台ファーム独自の「土を使ったソイルブロック」を培地とすることで、自然栽培や有機栽培に近い環境づくりが可能となります。

根張りが良いことで肉厚で遅しい野菜を生産でき、同時にスポンジなどの異物混入リスクを軽減。

スポンジ等を使った栽培が主流である植物工場に対し、舞台ハイブリッド土耕栽培は地球環境と植物の生育環境を同時に考えた、全く新しい生産方法となります。



独自の農業テクノロジーで質・量・価格を追求→新しい農業へ進化！



栽培方法：
**舞台ハイブリッド
土耕栽培** 商標取得済



- 土耕と養液栽培のハイブリッド
- 太陽光とLEDのハイブリッド工場
- 硝酸態窒素濃度をコントロール
- 鮮度革命



栽培システム：
**舞台ムービング
システム (BMS)**



品質管理：
**舞台品質
マネジメントシステム**



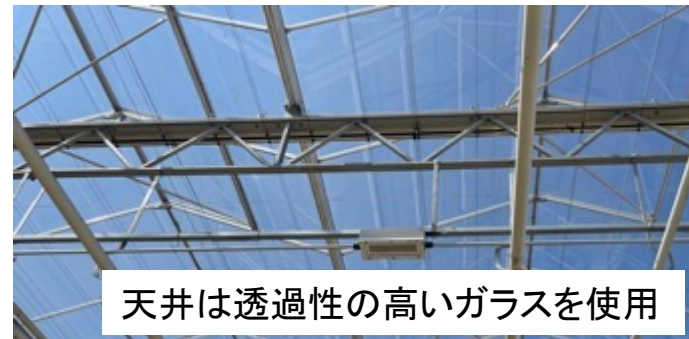
- 播種～栽培まで全て全自動の管理システム
- 露地栽培の約80倍の生産効率を実現
(全自動による面積の最大活用)
- 安定品質・圧倒的數量の算出

- J-GAP認証取得(2022年10月取得)
- 舞台ファームグループでの
Global.G.A.P. とAsia-GAPの取得
- 菌管理システムによる安心・安全

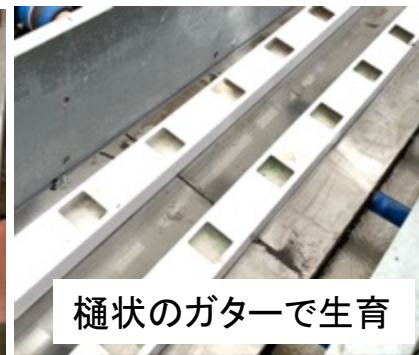
「美里グリーンベース」写真



AIによる環境制御・自動栽培



天井は透過性の高いガラスを使用



樋状のガターで生育

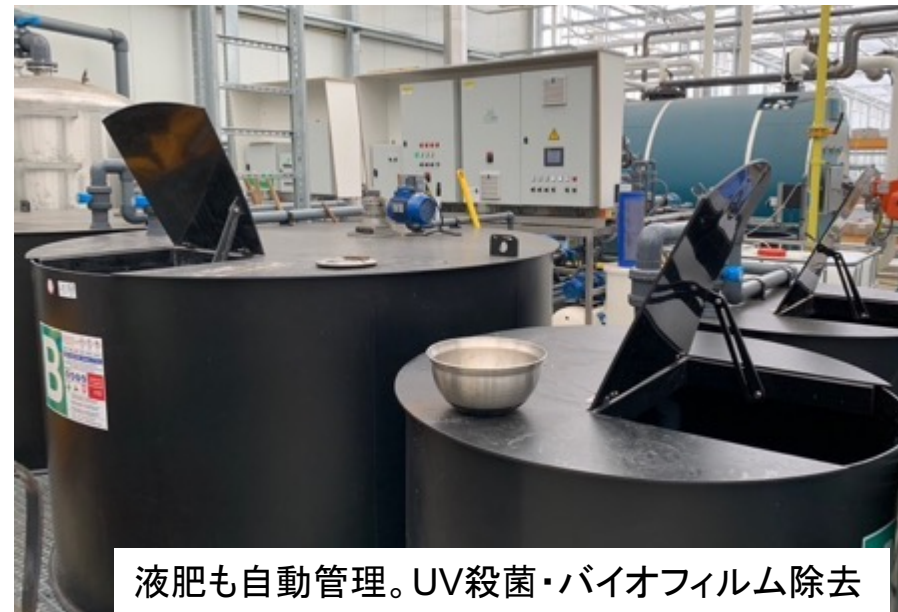


最新鋭のLEDで天候不順の課題をクリア



ソイルブロックを活用

「美里グリーンベース」写真





美里グリーンベースの「ポジショニングマップ」



リーズナブル



太陽光型植物工場



高品質
安定供給

低品質
不安定



露地栽培の80倍※の生産性を実現
「質・量・価格」における、
メリット最大化へ挑戦！

※同規模のレタス露地栽培(年1作)との面積生産数量比較

高価格

地元農業法人とも連携～地域の未来を牽引～

5年前～美里町農業者の法人化の支援、産地化促進、農業経営指導を実施



H29.3.5 タカギ農産 第一回発起人会



H29.3.18 中塚ファーム育み 第一回発起人会

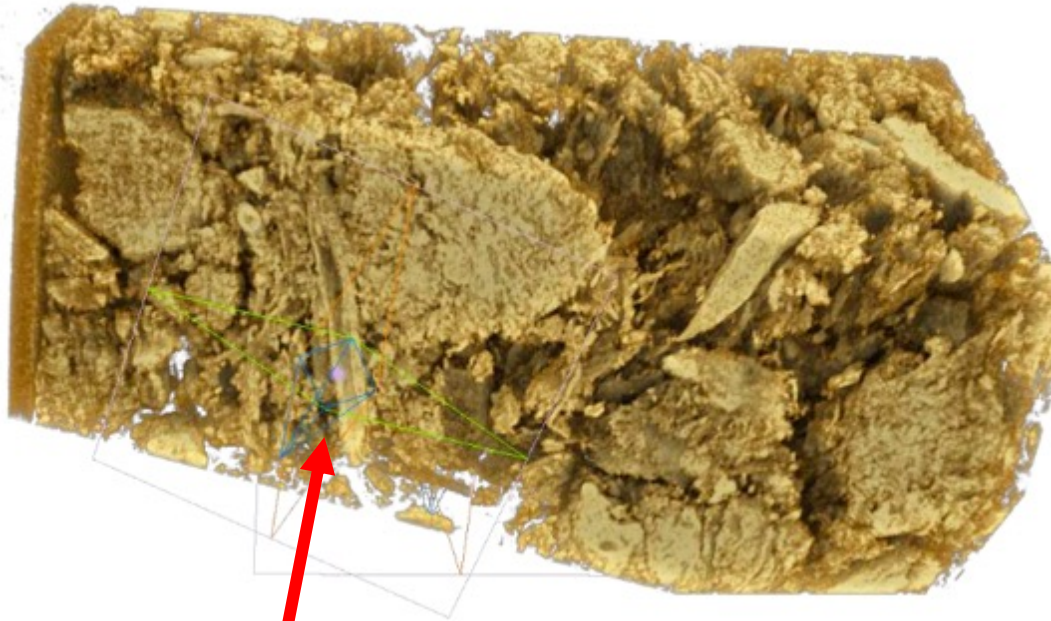


R1. 7.3 美里プラス農業経営実践塾

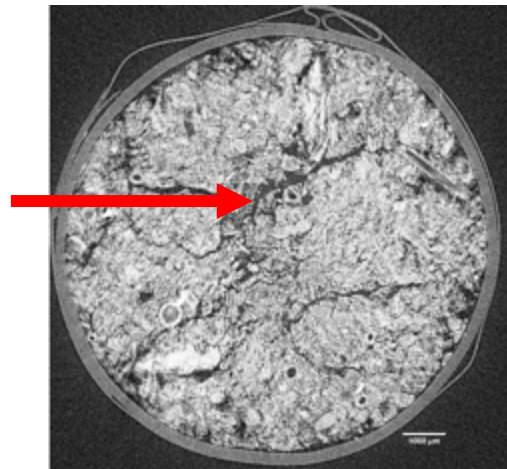


R2.1.15 コメの輸出に向けた説明会キックオフ

東北大学と植物の「根を中心とした生育メカニズム」の共同研究へ



東北大学との共同にて
撮影したソイルブロックと
レタス苗の根の様子
(佐賀の放射光設備を利用)



＜次世代放射光設備「ナノテラス」＞
(令和4年度に完成予定)

舞台ハイブリッド土耕栽培、
および、可食部の優位性を
明確にするエビデンスを取得

→ バイオ炭の共同研究も
同時にスタート

東京農業大学と連携し、日本農業の課題解決に取り組む。

- 植物工場における生産物の生育に向けて → エビデンスなどの協力体制
- 担い手育成の取組み → 舞台Fも農業版MBAの構築に参与
- 福島県沿岸部支援 → 東京農業大学・浪江町と三位一体で営農支援
- 針生・伊藤 → 大学の客員研究員を拝命 → 授業を受け持ち各種指導など



農業経営者人材 = “グリーンカラー人材”の育成が急務

■ブルーカラー = 主に肉体労働を基本とした職種

■ホワイトカラー = マーケティング・営業などの職種

農業知識・スキルを保持 × マーケティング・営業ができる

→ さらに、「実行していく強い精神力」と「経営力」

→ 農業経営者人材 = 「グリーンカラー」

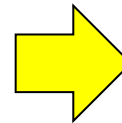


ブルーカラー



ホワイトカラー

実行する
強い精神力

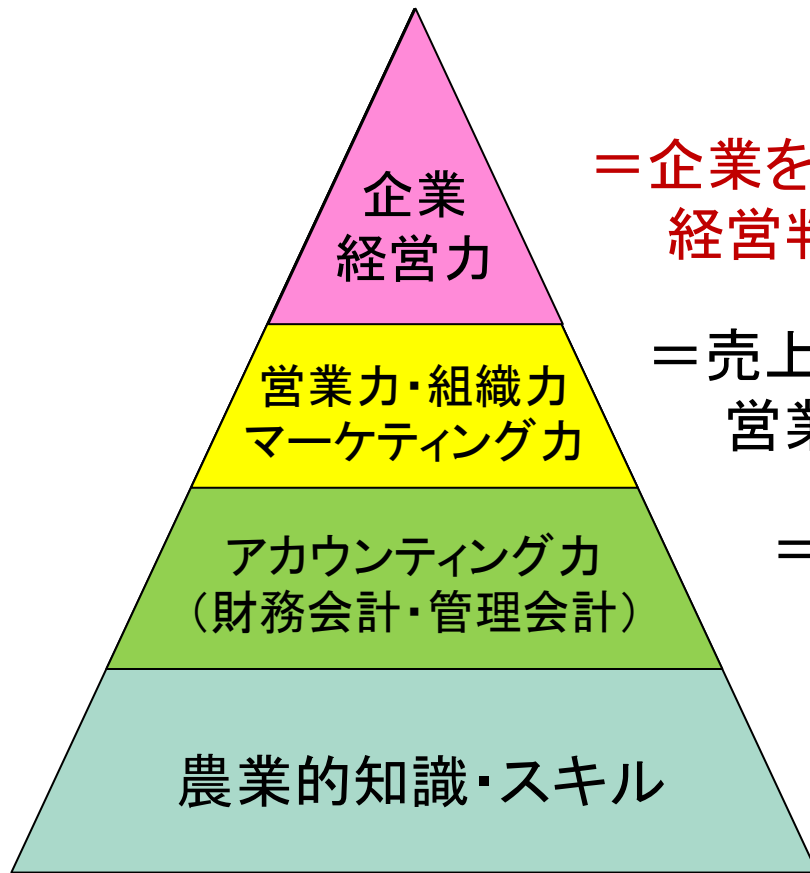


グリーンカラー



今後の求められる「農業人材」とは？

農作物を作っているだけではダメ！「農業経営人財」の育成を進めていく！



= 企業を先へ導く、
経営判断能力、チャレンジ力



= 売上を拡大していくための、
営業力、マーケティング力、組織統率力

= 「状況の見える化」と「目標設定」
数字管理能力、課題発見能力

= ベースとしての農業知識・スキル

元気・感動・繋がり = 最終的には「人間力」向上



横串型でDXや生産性向上の仕組みを推進→ 優秀な若手の登竜門

